



冬号

2026.1

アンテナ出東

発行／出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ／TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 1,305戸

●人口 3,790人

男性／1,873人 女性／1,917人

令和7年10月31日現在

島根県、県教育委員会、県警、山陰中央新報社が募集した2025年度「犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスター」の審査で、見事県知事賞に輝いた。作品は地域のボランティアに見守られない笑顔で登校する子どもたちの姿を、ほのぼのとしたタッチで描き、「地域で守る子どもの笑顔」の標語を配した。

小学校時代から絵を描くことが大好きで、中学校へ進むと迷わず美術部へ。週4日の部活動も和気あいあい。絵の実力は昨年度斐川ライオンズクラブが募った「国際平和ボスター・コンテスト」で、最優秀賞を受賞するなど折り紙付き。家でも「弟と父の方が私より絵は上手」と、あくまでも控え目。好きな教科について聞くと、「美術と理科。特に生物が好きです。その仕組みが面白い」とのこと。趣味は「図書館通い。電子書籍より紙の本が好きです」。文学少女の一面も。「いつも周囲の人に支えられているので、将来は支える側になりたい」と頼もし。こんな娘さんについて母親の美佳さんは「何でもコツコツと先頭に立つて取り組む努力家」と柔和な顔をほころばせる。

「先生から聞かされた時、そのような賞をいただけるなんてびっくりしました」と、受賞の感想を語る尾原葵さん。

安全で安心なまちづくり
啓発ポスターで
県知事賞を受賞

Kirari shuttoubito

キラリ
出東ひと

沖洲北島自治会
斐川東中2年
尾原 葵さん(14)



美術と理科と
図書館通いが
好きです！



斐川東中からは昌子悠理さん(2年)の作品も優秀賞に選ばれた。入賞作は、いわみーる(浜田)、いきいきプラザ島根(松江市)で展示された。

人権
コラム

人権について考えてみよう (Vol.10)

クイズ 親子(家族)ではなしあってみよう!!
～「ちがいのちがい」人権 OXクイズ～

ルール 「あってもよいちがい」は○、「ない方がよいちがい」は×と考えます

<問題1>

生まれた時から、Iさんははだの色は黒いが、Jさんははだの色は白い。



<問題2>

Kさんは新しいくつをはいでいるが、Jさんはおさがりのくつをはいでいる。



小学校の学習公開で取り上げられた「人権〇×クイズ」を紹介します。
親子(家族)ではなしあってみてくださいね。

みなさんは「あってもよいちがい」と思われますか？(○)、「ないほうがよいちがい」だと思われますか？(×)

皆さんのご家庭、地域、職場で人権について考えるきっかけとして活用していただき、多くの皆さんの「人権への気づき」へつながり、一人ひとりが尊重される社会の「築き」につながっていくことを心から願っています。

9月
10日～
12日 [水
金]

中学生職場体験

斐川東中学校3年の男子生徒2人が9月12日までの3日間、職場体験でコミセンに訪問しました。毎朝、館内清掃から始まり、防災行政無線の原稿の打ち込みや、模擬消火器を使った消火練習、避難誘導などを職員と一緒に行いました。人権DVDを鑑賞し、地域のつながりの大切さなども学びました。虹教室ではスタッフの一員となりしっかりと手伝いをしていました。

職場体験をした生徒たちは「電話が1日に何回もあり、想像以上に忙しい職場だった」「コミセンは、地域の人たちと触れ合うことができる機会が多く、貴重な体験をさせてもらった。3日間で自分たちも少し成長できたと思う」と話していました。



オッこう
いそがしいで…

9月
28日 [日]

出雲弁落語に大笑い 心と体の健康教室

自主企画事業/健康推進部



松江市の公民館でひっぱりだこの中屋 ごんべえさんによる、笑いの出雲弁落語が開催され44名が参加しました。

お酒にまつわる落語の演目では、全体を使い酔っぱらいを熱演。流暢な出雲弁の落語に会場は笑いの渦に包まれていました。

参加者から、「思い切り笑了。なかなか落語が直接聞ける機会がないから楽しかった」などの感想で、みなさん心のリフレッシュになったようです。

おじゅまします
出東のお仕事拝見！
vol.13



福田 美樹 社長

社員は大切な財産、 健康意識向上に注力



ヒカワ工業株式会社は昨年設立50周年を迎え、土木工事、舗装工事、維持管理業務など幅広く手掛け、「堅実性」「創造性」「安心感」をモットーに、地域社会に貢献する企業として今日に至っている。

同社は、「健康経営優良法人」に認定され、従業員の健康づくりに特に力を入れており、福田社長は「社員は会社の大切な財産であり、その健康を最優先に考えている」とし、健康診断受診率や保健指導率の100%達成をはじめ、毎月自社で発行する「健康だより」を給与明細とともに全社員に配信。社内には健康情報コーナーを開設、また禁煙した社員には、賞金を贈るなど喫煙率の低減にも積極的に取り組んでいる。



社員に身体と心の健康を維持してもらうことで、企業理念である「暮らしに溶け込むまちづくり」の実現のために全社員で取り組んでいる。

福田社長は近年急激に変化する、建設業界の経営環境に対応するとともに、地域のインフラを支える企業として安心、安全で未来へつながる持続可能なまちづくりを目指している。



INFOR
MATION

ヒカワ工業株式会社

●斐川町沖洲922番地 ●従業員49名



9月
17日 [水]

出東小防犯教室に参加



出東子どもの安全を守る会・青パト隊



9月
20日 [土]

自治協会代議員総会 自治会防災委員制度を承認

出東地区自治協会/出東地区人権・同和教育推進協議会



自治会長51人が出席し、令和7年度2回目の自治協会代議員総会が開催されました。冒頭、高島自治協会会長は、「昨今の異常気象の中、自治協会として防災・減災に軸を置いた活動を行っていく考え」とあいさつ。

「次年度から新たに自治会防災委員を選任し、自治会内の防災啓発活動などに務めてもらいたい」と事務局から趣旨の説明があり、全会一致で承認を得ました。その他、つなごう出東・未来の担い手企画など事業の説明があり、皆さんメモを取るなどしていました。

その後、地区人権・同和教育推進協議会による人権DVD(タイトル・生まれ来る子へ)研修が行われ、視聴後は数人ずつのグループに分かれ、家庭内で交わされる日常会話を通し、身の回りにある人権問題について話し合いを行いました。

10月
11日

一人暮らしの方に 楽しんでもらいたい おちらと昼食会を開催

出東地区社会福祉協議会

おしゃべりしながら楽しい時間を過ごしてもらおうと、今回で2回目となる「おちらと昼食会」がコミセンで開かれました。

地区民生委員のお世話で用意されたお弁当を囲みながら、男女14名の参加者の皆さん、およそ1時間余り世間話に花を咲かせていました。また地域のたすけあい活動や高齢者サロンの案内もあり、参加した人からは「地域の活動を知ることが出来た」と好評でした。地域のつながりを感じられる和やかな時間に、主催した地区社協の担当者も「今後も継続していきたい」と話していました。

10月
26日

ゴミのないきれいな地域に 荘原・出東一斉クリーン大作戦

環境保全連合会出東支部



クリーン大作戦も今年で12回を数えすっかり地域に定着。天候が心配された中、各自治会から家族や親子連れなど多くの方が参加しゴミ拾いに取り組みました。活動の終わる午前9時頃には集積場所の沖洲天満宮前や出東小学校などに次々とゴミが集められ、その後コミセンに運ばれてきました。

例年参加しているという男性は「毎年拾うゴミは減っていて、逆に探すのが大変なほど。それだけ環境意識が高まっている証拠でうれしい限り」と話していました。普段から一人ひとりが気に掛けることで、ポイ捨て防止につながります。皆で少しだけ意識を高め、クリーンな出東地区をつくっていきましょう。

10月
6日

お魚の干物でおいしく調理!

自主企画事業/健康推進部



魚をおいしく食べる工夫や調理方法などを学ぼうと、25名が市内浜町の渡邊水産を訪ねました。

はじめに、工場見学で塩と乾燥のみで作られた魚の美味しさとこだわりについて、次に誰でも簡単に出来る笹かれいの簡単な骨の取り外し方や美味しい焼き加減を学びました。その後、会場を高松コミセンに移し、全員で干物のアレンジ料理を作り味わいました。最後に同社の岩田響子さんから魚の栄養や美味しく食べる秘訣について話を聞き、参加者は熱心に聞き入っていました。

11月
5日

廃材の炭化と花の郷を見学 高付加価値化に驚き

自主企画事業/環境部

環境視察研修として21名が、出雲カーボン炭化の工場見学としまね花の郷を見学しました。炭化の工場では木の廃材を材料にした消臭・調湿剤を製造する過程の説明を受け、山と積まれた廃材や大型の工作機械を見学。炭の持つ素晴らしい効果と、再資源化による商品開発の実例を目の当たりにしました。

花の郷では、丁度、菊花展が行われており町内の出展作品も見学したほか、県の菊づくりの取組み状況についても解説を受けました。花の郷では、常に見頃の花があるよう時期をずらして植えるよう心掛けていることや、毎年同じ花を植えないなどの工夫をしていることを学びながら、参加者は季節の花を楽しんでいました。



土地改良の祖「植田元確」

古きを訪ねて

出東歴史散歩

Vol.15



戦中戦後の10年間の空白はあったものの、30有余年、10億円の巨額と3,000町歩に及ぶ本県最大、全国でも屈指の大土地改良事業が完成した。更に51年からは、新川以北再圃場整備事業の施行に伴い設立された斐川第一土地改良区理事長に就任した。

これら土地改良事業に一生を捧げた功績をもって、38年には藍綬褒賞受章、45年には勳五等双光旭日章受章の栄に浴した。

一方で優れた資質は県政界においても花開き、県議会議員として3期当選、20年には県議会副議長の要職に就任、県政発展に尽力した。60年には、斐川町合併30周年記念で、その功績に対し、斐川町初めての「名誉町民」として推戴されている。

郷土斐川に生まれ育ち、斐川のために一生を捧げた功績は、その高潔な人格とともに町民の心の中に消えることなく生き続ける。



出東小学校北側に建つ顕彰碑

元確は明治32年、当時の出東村に生を受け、大正13年早稲田大学法学部を卒業の後帰郷。村の青年層リーダーとして、また、県青年団体の幹部として青年運動に挺身し、昭和9年35歳にして出東村長に就任した。以来、この地帯一帯の水害克服のため土地改良事業の完成を自らの生涯の事業として取り組み、戦前戦後を通して実に40有余年に亘り心懸け尽くした。

旧出東外6か村、現出雲市斐川町は大穀倉地帯であり、三方を斐川に囲まれ、東は宍道湖に面し、往古入海であったものが斐伊川の流砂によって形成された低湿地帯で、年々水害に悩まされていたこの一帯の改良は、地域住民の宿願であった。

元確は、国、県当局その他関係機関に自費を投じ日夜窮状を訴え、陳情運動を展開した。また、地元関係者の説得に努め、この熱意と努力が功を奏し、昭和13年県営出東村外6か村の農業水利改良事業が施行されることになった。これに伴い出東村外6か村普通水利組合が設立され、早速組合長に選出。28年、斐伊川右岸土地改良区に改組後も、理事長として直接陣頭指揮にあたった。また34年から2年間、県土地改良事業団体連合会長としても活躍した。

11月
14日 金

高齢者の元気づくりを応援 三瓶の秋を満喫

自主企画事業/高齢者福祉部

普段出かける機会の少ない高齢者の方を対象に、三瓶自然館サヒメルや淨善寺の大イチョウ、物部神社を見学、40名が参加しました。サヒメルでは三瓶山の噴火でできた実物の地層や噴火の歴史、島根の大地の成り立ちについて学び、皆さん興味深く展示に見入っていました。外では紅葉が美しく、秋の自然を楽しみながら昼食を囲み、和やかな交流の時間となりました。参加した女性は「秋の恵みを感じる、充実した一日となった」と話していました。



松江城保存に尽力した

勝部本右衛門親子の遺功を再確認



明治8年、坂田の豪農、勝部本右衛門栄忠と景浜親子が、廃城の危機にあった松江城を救ってから150年にあたる今年、その遺徳を偲ぼうと地区住民30名が松江歴史館と松江城を訪りました。

バス車中、講師の藤岡大拙氏から、江戸中期、勝部家は私塾の開設や著名な日本画家の池大雅と親交があり、いかに教育や文化面で地域に貢献したかなどの話を、松江歴史館では勝部親子が松江城を買い戻した経緯などを詳しく聞きました。特別展「慶長の城」では築城に至る経緯などの歴史を学びました。その後実際に登閣。松江城資料調査課の木下課長に松江城の特長などについて解説を受け、参加した人からは「何度か訪れたが、説明を聞き改めて松江城の魅力に触れた」「松江城を残してくれたことに感謝しかない」と感想を述べていました。

参加費には、松江城保存の寄付金が含まれており、代表して勝部家現当主の勝部功人さんから松江市に済財が渡されました。

自主企画事業/高齢者福祉部

11月
25日 火

青パト連絡会を開催

出東子どもの安全を守る会・青パト隊

小中学生の下校時などに地区内の見守り活動を展開している出東地区青パト隊の連絡会が行われました。常松会長のあいさつの後、山根斐川交番所長より、最近管内で交通事故が多発していることや車や自転車の交通マナーなどの話があり、参加した12名の隊員は熱心に話を聞いていました。その後、隊員が日頃の活動で気づいた地区内の危険箇所や注意すべき点などを話し合い、情報の共有を図りました。



出東子どもの安全を守る会では、新規青パト隊員を募集しています。自動車の運転ができる方で、その他特に資格など必要ありません。買い物や会社の帰り時間などだけでの活動も可能です。地域の子どもの見守りや地区的防犯活動にご協力いただける方は、コミセンまでお気軽にお問い合わせください。

10月 22日 水

太極拳教室による呼吸法の講習で体をリラックスさせたあと、教室のみなさんによる演舞の鑑賞をしました。

9月 24日 水

暑さがやっと和らいできた9月には、食のボランティアさんによる手作りのぜんざいが振舞われました。



5月 28日 水

ウクレレの演奏にあわせて手拍子や歌を歌ったりしました。ポロポロと鳴る優しい音に癒されました。また、サロンでは毎回運動の時間を用意し、座ってできる運動やちょっとしたゲームで身体を動かし健康増進をしています。



6月 25日 水

参加者は、人形劇を観たり季節の歌を歌ったりと盛りだくさんの演目を楽しみました。笑い声と歌声によって梅雨のじめじめも吹き飛ぶようでした。



8月 27日 水

斐川交番より、山根所長と安井さんに来ていただき、不審電話の注意喚起と国際電話利用休止申し込みの書き方を教えていただきました。その後、脳トレパズルシールに挑戦し、細かなシールを貼り合わせ花や動物の絵を完成させていました。

11月 26日 水

ミモザさんによるハンドベル演奏とグリーンリバーさんのハーモニカ演奏で歌をうたって楽しみました。



毎回サロンでは、健康推進員さんや佐野あつ子さんを講師に、和気あいあい軽い体操も行っています。



上記で紹介した以外にも、サロンでは健康で楽しく過ごせるイベントを実施しています。皆さんもお気軽に出来ふれあいサロンに参加しませんか？
出東コミュニティセンターまでお問い合わせください。



解放感あふれる青空ステージも好評!

开始100年を迎えた /

第97回

出東地区文化祭



10月19日(日)、前日の雨模様から一転し好天に恵まれた出東地区文化祭が小学校を会場に開催され、地区内外から800人以上の人出で賑わいました。大正15年出東小学校が現在の場所に建設された時から始まった出東地区文化祭、戦時に2回、09年の中止を除き今年で97回、100年を迎えました。

メイン会場の北館では、地域で活動するサークル団体の展示や飲食、物販販売も大盛況。今年は改修により体育館が利用できることから、大型トラック荷台の青空ステージが登場。全国大会に出場する東中吹奏楽部をオープニングに、大社高校ダンス部の若さ溢れるパフォーマンス、大声選手権や勝部本右衛門親子の紙芝居などが繰り広げられました。フィナーレの餅まき・お菓子まきには、周辺に人々と人が詰めかけ熱気に包まれていました。

またハロウィンパレードには、かわいい仮装の親子連れやグループが出東ララなどに訪れ、入居者の方からお菓子をもらい交流をしました。その他、さまざまな団体が工夫を凝らした内容で、今年の文化祭を盛り上げていました。



▲今年も全国大会出場を決めた東中吹奏楽部の演奏



▲メンバーの息もぴったり、大社高校ダンス部



▲子どもたちの弾けるダンス! VIVIダンスキッズ

▲愛を叫ぶ! 怒りをぶちまける?
初企画大声選手権

▲元気な演舞を披露、友輪舞人



▲思い思いの変装で楽しんだ出東ハロウィン!



▲フィナーレは恒例の餅まき大会



▲青少年育成協議会は、あいさつ運動で参加



▲一等が出ると周りから歓声が、ガラポン抽選会



▲たすけあい出東の利用・協力会員の募集ブース



▲健康づくりの会の健康コーナーは毎回大盛況



▲子どもの遊び場にこだまする笑い声



▲プロ顔負けの作品がズラリ、編物クラブ



▲各エリアで中学生ボランティアも大活躍!



1月 出東地区 行事予定



- 5日(月) 新春書初め会
 - 8日(木) 出東小始業式／斐川東中始業式
 - 15日(木) コミセン喫茶／虹教室(6年生)
 - 17日(土) 自治協会もちつき大会／子どもボッチャ大会
 - 20日(火) 文書配布
 - 21日(水) 虹教室(5年生)
 - 28日(水) 出東ふれあいサロン新年会
- 14日～28日の毎週水曜日、あいさつ運動

自走式草刈機を贈呈いただきました

かねてよりコミセン敷地内の雑草対策に苦慮していたところ、9月上旬、農事組合法人あきす様より、中古の自走式草刈機1台を出東コミュニティセンターに寄贈いただきました。来年また草と戦う季節が訪れる時には大活躍してくれると思います。大変ありがとうございました。



ひばり座

笑いと笑顔が広がる喜びを感じて

自称「美魔女」の人形劇団ひばり座です。2023年に立ち上げ、現在は出雲市近郊の4人で人形劇や歌、手遊びをして活動しています。

各地の高齢者サロンや保育園、子ども食堂などにお伺いして、皆さんに笑いを提供しています。私たちのモットーは「自分たちが一番楽しむこと」。私たちの笑顔が会場にあふれ、観客の皆さんに広がり、その空気が地域や家庭にも波及して、明るく楽しい世界を創ることを目指しています！そんな私たちと一緒に活動しませんか？

サークルさん +
+ いらっしゃい
待ってま～す！



// Follow Me! //



Instagram



出東コミュニティセンターのInstagramやってます！
最新情報をアップしています。
フォローよろしくお願いします。

INFORMATION

出東コミュニティセンターから

出東コミュニティセンターや地域各団体の主催事業・活動で、撮影した写真をアンテナ出東や、コミセンホームページ、インスタなどのSNS等で掲載させていただく場合があります。あらかじめご了解よろしくお願いします。

コミセン大掃除のお礼



○10月31日に予定していましたコミセンで活動しているサークルの方々による敷地内の草刈り作業は、当日、雨天のため中止となりました。わざわざ予定を立てていただいた皆さん、申し訳ございませんでした。また来春よろしくお願いします。

○12月5日(金)恒例の年末大掃除には、サークル活動のメンバー16団体47人の方にご参加いただきました。集会室をはじめ各部屋のフロア掃除や窓ふき、エアコンフィルターの掃除など普段あまり手の届かない場所や、玄関



まわりなど隅々まできれいにしていただき、見違えるほどになりました。新年も清らかな気持ちでコミセンを利用させていただけると思います。ありがとうございました。

The Voice ~皆さんからの声~



出東地区は宍道湖に面しており、朝は水面にシジミ漁の船が浮かび、夕日で斐伊川の輝きを見ることができる地域である。今年、阪神大震災から30年を迎え、平穏な日常の大切さに危機感を失っていると思ったのは、ある新聞記事を見たからである。

島根原発は全国で唯一県庁所在地に立地し、半径30km圏内に45万人が暮らす。複合型災害で原発事故が起きた時、本当に逃げることができるのか。避難計画の実効性や使用済み核燃料の搬出、核のごみの最終処分などの課題は変わらない。

今の時代、いつ何が起こるかわからない。地震や水害に限らず、原発事故を想定した訓練も地域を巻き込んで行ってほしい。

●皆さんのが募集しています!!

(三分市 50代 男性)

INFORMATION

年末年始 休館のお知らせ 2025.12/27(土)～2026.1/4(日)

12月27日(土)から翌年1月4日(日)までの9日間、出東コミュニティセンターは休館となります。ご不便をおかけしますがご了承お願いします。

●リサイクルステーションは12月27日(土)開設、28日(日)は休止。
新年1月3日(土)は休止、4日(日)は開設します。

ご寄付お礼

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区自治協会を通じ地域の福祉事業に活用させていただいております。

| | |
|----------|---------------|
| 香典返し 金一封 | 岡田 和人 様(協生1) |
| ご厚志 金一封 | 足立 真司 様(天神) |
| 香典返し 金一封 | 植田 誠 様(協生1) |
| 香典返し 金一封 | 楳野 純弥 様(碇下) |
| ご厚志 金一封 | 飯塚 政登 様(川東中組) |

ご厚志誠にありがとうございました。